

議員提案で定数を1名削減

来年1月の選挙から適用

平成15年度各会計決算を認定



▲9月定例会の議案を慎重審議（左上は永沼議長）

9月定例会では、平成15年度一般会計、及び介護保険を除く各特別会計歳入歳出決算を全会一致で、介護保険特別会計歳入歳出決算については、賛成多数で認定しました。

この決算認定は、会期初日の9月1日に市長から提出され、詳細説明後、代表監査委員の審査結果報告があり、総務、文教・建設、健康福祉、市民生活の各常任委員会に付託を行いました。

各常任委員会では、9月21日から4日間にわたり慎重な審議を行い、10月6日の本会議最終日において各常任委員長から審査経過並びに結果について報告が行われ、その後、討論、採決を行い、各会計決算を認定しました。

●歳入総額

- 383億
 - 742万1951円
 - 歳出総額
 - 363億
 - 8162万1882円
 - 差し引き
 - 19億2580万69円
- が平成16年度に繰り越されました。
- 平成15年度水道事業会計の決算については：
- 収益的収入
 - 25億5911万9191円
 - 収益的支出
 - 23億329万5907円
 - 資本的収入
 - 5億5913万4390円
 - 資本的支出
 - 14億1647万5812円

また、議員提出議案として「戸田市議会議員定数条例の一部を改正する条例」(要旨は3頁参照)を賛成多数で可決のほか、5件の意見書等が提出され、原案どおり可決しました。(要旨は18頁参照)

今定例会で提案された主な議案等

- 一般会計補正予算
- 歳入歳出それぞれ、4626万6000円を追加するもので、主なものは次のとおりです。
- ①地域安心安全情報共有システム実証実験に伴う委託料の新規計上。
- ②市議会議員選挙での期日前投票所の増設に伴う経費の増額。
- ③ライフサイクルを通じて



▲市内企業が集まり操業しているミニ工業団地

議員定数が28人から27人に

戸田市議会議員定数条例の一部を改正する条例

戸田市議会議員定数条例の本則中、「28人」を「27人」に改める条例で、議員提出議案として提出され、賛成多数で原案どおり可決しました。



議会では、議会改革特別委員会において、議員定数の見直しの検討を進めてきました。今定例会初日に、委員長報告として、これまでの検討結果を総括して、議員定数を削減すべきとの報告をしました。この条例は、それを踏まえ、議員提出議案として提案されたものです。

その提案説明は、次のとおりです。「長引く不況のもと、市民生活も苦しい状況を脱することができません。市政面でも、不交付団体であるとはいえ、行財政改革を抜本的に進めなければいけない状況に置かれています。一方、我々議会は、行政の監視機関として、幅広い

市民の声を市政に反映させる必要性がありますが、16年間にわたって議員28人で議会運営を進めてきた状況を振り返ると、本市は人口増にあるとはいえ、議員の増員を求める声を耳にすることは全くありませんでした。ましてや、県内の議員1人当たり人口比較の結果を



▲昨年設置された期日前投票所

討論

討論とは、提出された議案等審議の最終段階で、賛成や反対の意見を述べることです。

「議員定数条例の一部を改正する条例」についての討論の要旨は次のとおりです。

反対

日本共産党 望月久晴 議員
議員定数は民主主義の根幹をなすものであり、定数が安易に変えられれば、民主主義の基盤が脅かされることとなります。議員定数を減らすことは、市政と市民の距離をますます広げることになり、市政の発展を妨げるものであります。議会改革特別委員会の論

賛成

平成会 本橋健造 議員
市民の代表である議員定数を削減する場合、重視すべきことは、民意の反映に影響はあるかどうかという点だと考えています。人口増があったにもかかわらず、耳にするのは、「議員の増

議の中で「長引く不況のもとで、市民も苦しんでいる。議会としても、定数を削減するか、議員報酬を下げるかなければ市民の納得が得られない」という意見が出されたが、不況で苦しんでいる市民と苦しみを分かち合い、議会経費の削減を行うのであれば、議員の削減より報酬の削減こそ行うべきではないでしょうか。議会制民主主義の後退につながる議員定数削減条例に反対するものです。

して、次の一般選挙から議員定数1名の削減を提案しました。」この説明後に質疑を経て、委員会付託は省略をして討論に入りました。

賛成

平成会 遠藤英樹 議員
平成会では、多くの意見が出されました。①議員1